

やお市議会だより

新型コロナワクチン定期接種へ

- ▶ 令和6年度所管事務調査のテーマ決定
- ▶ 新規就農者支援の補助金
補正予算を可決



PICKUP
03

曙川小学校の児童急増対策 校舎増築にかかる設計費用を計上

曙川小学校区内で土地区画整備事業等による大規模な宅地開発があったことから、同小学校の児童数が急増することが見込まれ、小学校普通教室及び放課後児童室の教室不足数を補うため、校舎の増築を行う際の設計に係る経費を増額する補正予算を可決しました。

▶委員会での審査内容は 13 ページ参照



PICKUP
04

新規就農者への設備導入支援の補助金

国が行う新規就農者育成総合対策事業を活用し、農業への人材定着を図るための設備の導入支援に関わる補助金を支給するため、農業支援に係る経費を増額する補正予算を可決しました。

▶裏表紙に予算議案に関連するインタビュー記事の掲載



議会活動の記録

本会議 (6月13日、14日、17日、7月3日)	予算決算常任委員会（全体会） (6月27日)
議会運営委員会 (5月28日、31日、6月13日、27日、7月1日)	予算決算常任委員会（理事会） (5月31日、6月26日、7月1日)
総務常任委員会、予算決算常任委員会（総務分科会） (6月24日)	各派代表者会議 (5月28日、31日、7月1日)
建設産業常任委員会、予算決算常任委員会（建設産業分科会） (6月20日)	議会だより編集委員会 (6月6日、27日、7月25日)
文教常任委員会、予算決算常任委員会（文教分科会） (6月21日)	意見書調整会議、幹事長会議 (6月28日)
健康福祉環境常任委員会、予算決算常任委員会（健康福祉環境分科会） (6月19日)	

6

令和6年
6月定例会

新型コロナワクチン 令和6年度から定期接種へ

令和6年6月定例会は、6月13日から7月3日まで開会しました。1日目から3日目にかけて、市政全般について個人質問を行いました。また、補正予算案などの議案を上程し、所管の委員会で審査しました。

最終本会議では、人事議案等を追加上程し、討論の後、すべての議案を可決・承認しました。

▶個人質問は4～7ページ、委員会審査の概要は12～13ページ、議決結果は14ページに掲載

市議会ではココに注目！

PICKUP
01

中小企業支援と万博出展に向け FM ちゃおの跡地を活用

中小企業スタートアップ支援を充実するため及び大阪・関西万博の大阪ヘルスケアパビリオンへの出展に向けた実証実験に資するFM ちゃお跡地の環境整備をするための経費を増額する補正予算を可決しました。

▶委員会での審査内容は 12 ページ参照



PICKUP
02

新型コロナワクチン 令和6年度から定期接種へ

令和6年10月から65歳以上の方を対象とした新型コロナワクチンの定期接種を開始するための接種費用や事務経費などを増額する補正予算を可決しました。

▶委員会での審査内容は 13 ページ参照



個人質問

3日間12人の

R6
6
月定例会

個人質問とは

八尾市の市政全般について、市民の代表として議員が市に対して説明を求めることや疑問について聞くことをいいます。
八尾市議会では、答弁を含まずひとり30分の持ち時間となっています。

日本共産党
たなか ゆうこ
甲 裕子



可燃ごみ収集の
民間委託について

Q 令和6年7月に始まる可燃ごみ収集の民間委託において、市直営から委託業者の収集に変更となる地域を市民に周知すべきと考えるが見解は。

A ごみの排出方法や収集日に一切変更がないことを市民に理解いただくことが重要であり、委託業者が収集する地域の周知までは必要ないと考える。

Q 民間委託に係る再入札では、予定価格公表のもと、落札率が99.98%の区域もあったが、問題は無いのか。

A 受託業務を遂行できる適切な価格で落札されることが重要であり、法令の範囲内で対応している。



田中裕子議員の個人質問資料より

その他の質問項目

●学習プラザめぐるの来場者

無所属
つゆはら ゆきか
露原 行隆



子どもの発達支援に
地域ぐるみの環境を

Q 子どもの個性や家庭での生活環境を把握し、様々な課題解決を図る契機となる5歳児健診が必要だと考える。大分県津久見市では健診を通じて、保健、福祉と教育部局が連携し、地域ぐるみで子どもを育む取り組みを進めているが、本市の見解はどうか。

A 5歳児健診の導入にあたっては、保健指導や専門相談、就学に向けた支援に加え、地域のフォローアップを含めた実施体制の構築など様々な課題があるが、国のマニュアルを指針として、本市での実現可能な手法について検討を進めている。



子どもの発達支援に5歳児健診の必要性が高まっている。

その他の質問項目

●保健所及び保健センター施設の今後のあり方

八尾の未来を紡ぐ会
よしむら たくや
吉村 拓哉



マイナ保険証への
移行に伴う対応は

Q 現行の健康保険証の廃止後、マイナンバーカードを持っていない方や、カード保有者で健康保険証利用登録をしていない方に対して、資格確認書を交付していくのとだが、どのように進めていくのか。

A 資格確認書については、令和6年12月2日以降、各保険者から交付されることとなっている。

Q 可燃ごみ等収集業務の3分の1を民間に委託するが、今後、委託の割合を増やしていく場合においても、行政が市全体を見渡せる状況を確認すべきかどうか。

A 市民にとって安心なごみ処理体制を今後も取り続けていくことが重要であり、委託業務を進める中で見えてきた課題等について検証を行い、今後の事業に反映していく。

日本共産党
おち たえこ
越智 妙子



手話言語の認識広め
共生社会の実現を

Q 市立病院への手話通訳士の配置や、救急隊員など職員向けに手話研修を実施すべきかどうか。
A 市立病院においては、手話研修及び手話ができる職員の配置を行っているが、障がい者への理解や意識醸成を図る研修を実施している。救急隊員を対象とした手話研修は他市の状況や対応等を参考としながら研究していく。

Q 聾・難聴児の手話の習得について、本市職員の認識を深めるため、大阪府の乳幼児期手話言語獲得支援事業「こめっこ」に職員を派遣してはどうか。

A 専門性が高く、有益な事業であると認識しており、先進的な事業等については、職員理解を深めるための取り組みを進めていく。

Q こども園や塾など、子どもに関わるところでの手話通訳費用は公費負担すべきと考えるがどうか。

A 個別に内容を確認し、調整の上、対応している。

大阪維新の会
まつもと つよし
松本 剛



放置自転車対策
より効率的な施策を

Q 放置自転車対策に令和6年度予算として約6190万円を計上しているが、駅周辺の放置禁止区域における放置車数が大幅に減っている中、即時撤去も含め、より効率的・効果的な対策をすべきと考えるがどうか。

A 市民の良好な生活環境を確保するために必要な施策と考えているが、先進市の事例調査や事業内容の見直しなどを行い、経費の削減を図っていく。

Q 地域の防災備蓄品は危機管理課で一元管理し、在庫数や管理場所等の正確な把握に努め、庁内及び地域と共有するよう求めてきたが、現状はどうか。

A 各校区まちづくり協議会に、防災備蓄物資の点検と報告を依頼しており、保管場所等の把握ができ次第、速やかに庁内での情報共有を進める。

公明党
まえの まさあき
前園 正昭



防犯灯に関する課題
解決を急ぐべき

Q 町会加入率の減少により、防犯灯の設置や維持管理が困難となっている地域が生じている。このような課題を早急に解決すべきと考えるが市の見解は。

A 持続可能な防犯灯の仕組みを構築するにあたり、効果的な手法や財源の確保について検討を進めている。

Q 難聴の方や聞こえづらい方への有効な支援策として、軟骨伝導イヤホンを市庁舎の窓口に設置すべきだと考えるがどうか。

A 非常に有用な器具であると認識しており、先進市での活用例など踏まえて検討していく。



軟骨伝導イヤホンを導入する自治体や金融機関等が増えている。

その他の質問項目

●学校・特別教室のエアコンを早急に整備すべきこと

個人質問

その他の質問項目

●マイナ保険証に関するトラブル

個人質問

八尾の未来を紡ぐ会
柴谷 匡哉

QRコード

**被災した人の健康に
寄り添った支援を**

Q災害発生時の避難所での健康被害を防止するため、医師会・歯科医師会・薬剤師会と協定を締結し、健康管理や薬剤の確保ができる支援体制を構築すべきではないか。

A災害時における医療活動に関する三師会との協定締結の早期実現に向けて取り組んでいく。

Q福万寺町市民運動広場のドッグランについて、写真等を用いた効果的な広報による利用促進や、マナー違反防止・施設点検等のための巡回を行うなど、施設を気持ちよく使ってもらうための取り組みが必要ではないか。

A早急に効果的な周知に努める。また、巡回時に施設利用時の注意事項を周知する声かけを行うなど、マナー違反等の防止に努めていく。

Qオンライン面談等、教員や保護者の負担軽減につながる家庭訪問の在り方を検討すべきではないか。

A今後、学校行事の見直しの観点で、各学校に他事例等の紹介も行っていく。

八尾保守の会
川上 舞

QRコード

**都市農業支援と
オーガニック給食を**

Q本市における農地面積の減少率が全国平均と比べて非常に大きくなっており、都市農業への支援が必要と考えるが市の見解は。

A農業者の高齢化や後継者不足が大きな課題と考えており、八尾市都市農業振興基本計画に基づき新規農業者の育成支援や農地バンクの活用、地産地消等に取り組んでいく。

Qオーガニック給食の導入は、環境への配慮や地域の農業を守ることにも繋がる。子どもの健康を守る観点から導入を検討すべきではないか。

A食育や地産地消等への効果があることは認識しているが、食材の必要量の確保や価格面での課題があり、導入は困難な状況である。



子どもの健康や食育に繋がる
学校給食の推進が望まれる。

日本共産党
谷沢 千賀子

QRコード

**万博遠足は安全を
踏まえた学校判断で**

Q万博開催予定地である夢洲では、土壌から有害物質が検出され、メタンガスの爆発事故も起きている。そのような危険な場所での万博開催について、市長はどう受け止めているのか。

A博覧会協会において、開催期間中の災害や熱中症に対する追加の安全対策が取りまとめられる予定であり、安全安心に開催されるものと考えている。

Q万博への遠足に当たっては、子どもの安全を第一に考え、子ども・保護者・学校の思いを尊重する必要がある。学校が子どもたちの安全を守る正しい判断ができるよう、情報を伝えていくべきと考えるがどうか。

Aこれまでも各学校へ十分な情報提供を行っており、府に対し、早い段階で市へ情報提供することや子どもたちの安全を確保することなどを要望している。

その他の質問項目
●万博関連経費を削減し、市民の命と暮らしを守る予算を拡充すべき

大阪維新の会
稲森 洋樹

QRコード

**市立斎場の職員逮捕
事業のあるべき姿は**

Q市立斎場職員の逮捕について、技能労務職員に対するマネジメントが効かない体制であったのか、市の課題認識は。

A管理職員のマネジメントが十分であったとは言いが切れず、また、日常業務を指揮監督する技能長に、本来職員が持つべき公務員倫理が欠落していたことなどが、背景にあると認識している。

Q令和7年度以降の事業手法については抜本的見直しが必要と考えるがどうか。

A民間委託も含めた検討が必要であると認識している。

Q市立斎場2階の待合室について、「ほとんど使われていないのではないか」「もったいない」との声が上がっている。利活用を促進すべきではないか。

A当該待合室の利用について、周知が重要と認識しており、ホームページ等での情報発信に努めていく。

QRコードから、各議員の質問の映像を見ることができます。

公明党
福永 美智子

QRコード

**認知症個人賠償責任
保険事業の導入を**

Q認知症になっても安心して外出できるまちづくりのため、市民に寄り添った支援の取り組みとして、認知症個人賠償責任保険事業を導入すべきと考えるがどうか。

A事故等を起こすリスクは認知症の人に限らないため、対象者や適用範囲なども含め、福祉全体として考えていきたい。

Q15歳から18歳までの若者には、悩みに寄り添い、支える存在が必要と考える。切れ目のない支援を実施する観点からも、中学校卒業時に進路未決定の子どもの相談支援のため、教育委員会とこども総合支援センター「ほっぷ」との連携が必要ではないか。

A中学校卒業時に進路未決定の子どもには、ほっぷをはじめとした府内の様々な相談先の情報を提供している。

その他の質問項目
●小中学生対象の認知症の人との共生の心を育む体験型学習の実施
●ヤングケアラー支援の強化

公明党
五百井 真二

QRコード

**ゼロカーボンに向け
ZEB化を推進**

Q既存公共施設の迅速なZEB化が必要であると考えるが市長の見解は。

A地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用しながら、スピード感を持って取り組んでいく。

Q新築も含めた将来的な公共施設のZEB化の展望は。

A今後、新築する公共施設では、ZEB Readyを目指すとともに、令和10年度までにリサイクルセンターを含めた2施設をモデルとしてZEB化に取り組み、その検証を踏まえながら、既存の公共施設についてもZEB化を進めていく。

ZEB とは
建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと。

ZEB Ready とは
ZEBを見据えた先進建築物のこと。

その他の質問項目
●こどもまんなか社会実現の本市の取り組み
●職員の使命感・倫理観の現状と醸成

市議会の い・ろ・は

Question 一般質問ってなに???

Answer
議員が市長に対し、市が行う仕事について質問することです。

一般質問には、会派の代表者が行う「代表質問」と、議員個人が行う「個人質問」があります。議員は、市が行う子育て支援、福祉、観光、教育等の取り組み内容などの市政全般に関し、幅広く質問することができます。これに対し、市は今後の事業の進め方や課題解決のための考え方を答えます。このやりとりは、市民の代表である議員が市の考え方をチェックし、市民の思いを市民サービスに反映させるという大切な役目を果たしています。

永年勤続議員への表彰状を伝達

議会活動を通じ、地方自治の振興と市政の発展に永年貢献された功績に対し、本市議会の2人の議員が全国市議会議長会から表彰を受けました。



25年表彰
田中久夫議員 田中裕子議員

本会議で議案質疑がありました

6月13日 日本共産党 谷沢 千賀子
議案第57号「大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議の件」

QRコードから、本会議での議案質疑の映像を見ることができます。



やおい市議会だより^{!!}ができるまで

- わかりやすい広報を目指して -

1 企画・誌面の打合せ

編集委員会を開き、誌面構成や企画について協議し、方針を決定します。



3 取材や写真の撮影

議員や事務局が取材に出向き、写真撮影や取材者の活動内容や市議会への想いをインタビューします。



2 記事作成

質問を行った議員と事務局が相談しながら質問・答弁の要旨をまとめていきます。



4 誌面のチェック・修正

編集委員会を開き、字の大きさや表現など、より読みやすい誌面となるよう確認しています。



5 校正・印刷

編集委員会の確認を終えた最終原稿を印刷会社へ持ち込み、色合い等の確認の後印刷されます。



完成!



私たちが編集委員です /



市民の皆様には議会をより身近に感じていただける誌面づくりをしています!

山中副委員長



「市議会だより」を通して、市政を身近に感じていただけるよう、がんばります!

谷沢委員



市民の皆様には、議会について身近にわかりやすくお伝えできるよう頑張ります!

福永委員



各議員の視点、言葉による訴え、市長との議論等、市議会を知るきっかけにしてください。

松田委員長



分かりやすくお伝えできるよう、頑張ってまいりますので、よろしくお願いいたします!

木村委員



無意識の偏見につながらないように、イラスト・写真などに意識して選んでいます。

西川委員



市議会の活動をより皆様に知っていただき、興味を持ってもらえる内容にしていきたいです!

川上委員

議会 Topics

Topic 1

国道 25 号大阪柏原バイパス整備促進 八尾市議会議員連盟設立総会を開催しました

令和 6 年 5 月 31 日 (金)、国道 25 号大阪柏原バイパス整備促進八尾市議会議員連盟設立総会を開催し、設立発起人及び賛同議員が出席しました。

同議員連盟は、国道 25 号の渋滞解消と、それによる市民の利便性向上及び安全な環境の整備、防災活動や企業活動の一層の充実等に寄与するため設立されました。



今後のバイパス整備促進へ向けた議員連盟設立の趣意に賛同する議員が出席しました。

Topic 2

「みせるばやお」への視察を行いました

令和 6 年 7 月 9 日 (火)、商業施設リノアス 8 階にある、イノベーション推進拠点「みせるばやお」において視察を行いました。

みせるばやおの取り組みについて詳しく説明を受け、質疑応答では議員の視点からの質問を行い、活発な意見交換となりました。施設内の見学も行い、八尾市内で製造されている様々な製品や製作技術に触れました。



質疑応答を通じて活発な意見交換も行い、有意義な視察となりました。

所管事務調査とは

条例案や予算案の審査と異なり、常任委員会が自主的にテーマを決めて調査を行うものです。本定例会で令和6年度の各常任委員会調査するテーマが決まりました。

市が行っている取り組み内容の確認や、他市へ視察に行き先進事例を研究するなどの様々な調査を行います。最終的に議員間の協議を経て、報告書としてまとめ、市に提出します。

市はそれを受け、施策実施や見直しなどの検討を行い、市議会に報告します。

ホームページにはこれまでの所管事務調査の報告や市長からの処理経過と結果の報告を掲載しています。→→→



文教常任委員会

- ▶令和6年度調査テーマ
- ・産後ケアについて
 - ・不登校対策について
- ▷令和5年度の調査テーマと提言&市長からの回答
- ・GIGAスクール構想の現状について
 - ・教職員の働き方について



提言	令和6年度から、モデル事業の実施を予定しており、今後、モデル事業の効果検証等を適切に行うとともに、教員の部活動指導に関する負担が減少することで、子どもたちの成長や発達をサポートするための、子ども一人一人と向き合う時間を確保することが可能となるように、本市としての最適な実施形態について、研究・検討されたい。
回答	部活動改革を進めていくにあたっては、休日に加えて平日の活動の運営方法、多様な指導人材の確保、活動全体の調整・運営を担う運営団体の設置、持続可能な財源の確保等が課題と考えております。モデル事業の効果検証や先進事例の調査研究を通じて、これらの課題解決に向けた道を探り、本市として最適な実施形態を確立し、教職員が一人ひとりの児童生徒と向き合う時間が確保できるように努めてまいります。

CHECK! 議会の提案が市政を動かす 常任委員会の所管事務調査

令和6年度の所管事務調査のテーマが決定 市の課題を追求します!

※各常任委員会からの提言と市長からの回答より一部抜粋

総務常任委員会

- ▶令和6年度調査テーマ
- 少子高齢・人口減少社会を見据えたコミュニティづくりについて
- ▷令和5年度の調査テーマと提言&市長からの回答
- 少子高齢・人口減少社会を見据えた地域防災及び地域減災について



提言	今後、令和6年度中に全28地区における地区防災計画の策定を完了することを目指し、取り組みを進めることを求める。また、災害時要配慮者支援の観点から、各地区の高齢化率等の地域特性も踏まえた計画策定について取り組むことを求める。
回答	地域における防災力の向上を図るため、地域の特性や想定される災害を踏まえて、地域住民が主体となって取り組む地区防災計画策定の支援として、危機管理課の支援体制を再整備し、計画策定の働きかけ及び加速化を図るべく、取り組みを進めているところであります。今後も、未取り組み校区について、関係部局と連携し、地域が主体となって策定できるよう積極的に働きかけを行うとともに、各地区の高齢化率等の地域特性も踏まえ、全校区における計画策定をめざします。

健康福祉環境常任委員会

- ▶令和6年度調査テーマ
- ・健康寿命の延伸について（健康課題解決に向けた取り組みについて）
 - ・ごみ減量・環境負荷軽減の取り組みについて
- ▷令和5年度の調査テーマと提言&市長からの回答
- 健康寿命の延伸について（認知症対策）



提言	若年性認知症にも対応できる相談・支援体制を築くとともに、そのニーズを把握し、個別支援や本人・家族交流会、若年性認知症の方が望む、自分らしい生活を続けられるよう、認知症とともに前向きに歩むことができるチーム作りに欠かせない若年性認知症支援コーディネーターの養成等、若年性認知症の特性に配慮した取り組みを充実されたい。
回答	若年性認知症については、認知症地域支援推進員のもとに年間10件ほどの相談がありますが、本市においても、若年性認知症の方の把握が困難な状況であり、まずは、関係機関等の協力も得ながら、その把握に努めてまいります。また、認知症地域支援推進員を中心に、若年性認知症の方が集える場の創設に取り組み、必要な支援等のニーズを確認した上で、その特性に配慮した支援の充実を進めてまいります。

建設産業常任委員会

- ▶令和6年度調査テーマ
- 地域公共交通の課題解消に向けた取り組みについて
- ▷令和5年度の調査テーマと提言&市長からの回答
- ・芸術文化とまちづくりについて
 - ・観光政策について



提言	誰もが芸術文化を気軽に発表できる場の提供やマッチング及びその取り組みの中で、核となるコーディネーターやリーダーとなる人材の発掘や育成に取り組み、行政のみではなく市民を中心に活動の輪が広がるよう環境を整備されたい。
回答	芸術文化活動の有機的なネットワーク「やおうえるかむコモンズ」を充実・発展させていくためのツールとして、「やおうえるかむコモンズポータルサイト」を開設し、サイト上で誰もが芸術文化を気軽に発表できる場の紹介やマッチングができる仕組みを構築してまいります。また、取り組みの核となるコーディネーターやリーダーを育成するため、アートコーディネーター養成講座を開催してまいります。

委員会 で 詳しく 審査

総務 常任委員会・分科会

バイオマス発電設備にかかる税率

低い割合を選択した理由は？

Q 地方税法の一部改正に伴う八尾市市税条例のうち、バイオマス発電設備にかかる固定資産税の課税標準の特例割合の規定整備について、国が示す参酌基準は7分の6であるが、わがまち特例として14分の11に決定した理由は？

A バイオマス発電を含めた再生可能エネルギーの利用を支援していく観点から、国が示す基準の範囲内で、納税者の負担が少ない割合を採用した。

Q わがまち特例と参酌基準との差である14分の1の税収については、市が負担するのか。

A 本市は環境にやさしいまち、ゼロカーボンシティを目指しており、その一助となるよう、税率は低く抑え、その税収の差分は市が負担する。また、現時点で本市に該当設備はないが、税率の軽減により再生可能エネルギーの発電設備の普及を図り、利用を促進していく。

バイオマス発電設備の出力	法律に規定する割合の範囲	条例で定める割合
10,000kw以上 20,000kw未満 (下記以外)	1/2以上 5/6以下 (参酌基準2/3)	1/2
10,000kw以上 20,000kw未満 (一般木質、農作物残さを 電気に変換するもの)	11/14以上 13/14以下 (参酌基準6/7)	11/14
10,000kw未満	1/3以上 2/3以下 (参酌基準1/2)	1/2

今回の条例改正により、上図太枠部分の規定が新たに整備された。

委員会で審査した議案

- 八尾市職員の退職給付及び障害給付に関する条例の一部改正の件
- 八尾市市税条例の一部改正の件
- 市営萱振住宅3号館外1棟外壁等改修工事の工事請負契約締結の件

分科会で審査した議案

- 令和6年度八尾市一般会計第3号補正予算の件（所管分）

議会がしっかり チェック

文教 常任委員会・分科会

曙川小学校の児童急増対策

内容や周知の方法は？

Q 曙川小学校の児童急増対策として、校舎増築に伴う設計費用2465万4千円が計上されているが、事業の詳細並びにこのタイミングで補正予算への計上となった理由は？

A 曙川小学校区内で行われた土地地区画整理事業等による大規模な宅地開発により、児童数が急増し、既存校舎では教室数等が不足することから校舎を増築するものである。また、教室数等の推移を見極める必要があり、令和6年5月1日の推計値が確

定する時期を待つて、今回の補正予算に計上した。

Q 校舎の増築にかかる全体的な費用は？

A 計画を策定する段階の試算において、設計費を含め約2億5000万円かかると見込んでいる。

Q 校舎が増築されることやその内容について、保護者への周知徹底が必要と考えるがどうか。

A 学校を通じて、保護者の皆様にご理解いただけるよう、丁寧な説明をしていきたい。



児童数や学級数の推移を反映した事業計画で、新校舎の設計が行われていく。

分科会で審査した議案

- 令和6年度八尾市一般会計第3号補正予算の件（所管分）

建設産業 常任委員会・分科会

大阪広域水道企業団との事業統合

必要性やメリットは？

Q 大阪広域水道企業団との水道事業統合に向けた検討協議について、これまで様々な議論があったが、統合を進める必要性やメリットをどう認識しているか。

A 補助金が交付されることで、施設や管路の更新にかかる費用負担の縮減が見込まれるだけでなく、より効率的な経営はもちろん、人員不足や技術継承など様々な課題を解消し、将来にわたって安全かつ安定した給水を継続させるために企業団との統合が必要だと考える。

Q 中小企業スタートアップ支援の充実及び大阪・関西万博の発展に向けた実証実験を行うため、アリオ八尾にあるFMちやお跡地を環境整備する予算が計上されているが、どのような場所となるのか。

A 新たな事業を開始する中小企業を対象に、コワーキングルームやチャレンジショップが利用できる場と、万博における大阪ヘルスケアパビリオンへの出展に向け、効果的な展示手法のブラッシュアップを図るため、出展内容を展示する場を創出する。



八尾市を含めた5市による水道事業の広域化の協議に関する議案が可決された。

委員会で審査した議案

- 大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議の件

分科会で審査した議案

- 令和6年度八尾市一般会計第3号補正予算の件（所管分）

健康福祉環境 常任委員会・分科会

新型コロナワクチン定期接種

どう周知するのか？

Q 令和6年度から新型コロナワクチンを定期接種として実施することに伴い、市民へはどう周知するのか。

A ホームページや市政だよりへの掲載のほか、出張所や保健センター、医療機関、高齢者あんしんセンター等の関係機関でのポスター掲示やチラシの配架を予定している。

Q 接種費用の免除対象者と申請方法は？

A 世帯全員が市民税非課税者・生活保護受給者・中国残留邦人支援給付受給者である場合は、申請により無料で接種可能である。申請方法は、接種前に保健センターや各出張所で申請いただくか、郵送での申請も可能である。



令和6年10月から65歳以上の方を対象に新型コロナワクチンの定期接種が始まる。

委員会で審査した議案

- 損害賠償に関する和解専決処分承認の件
- 高すぎる国民健康保険料、介護保険料の引き下げなど市民のくらしを守ることを求める請願の件

分科会で審査した議案

- 令和6年度八尾市一般会計第3号補正予算の件（所管分）



意見書

市の権限だけでは実現できないことについて、市議会が国や都道府県に意見や希望を提出する文書のことです。八尾市議会では、提出された意見書のうち全会派一致となったものを関係各省市に送付します。

4 件の意見書を関係各大臣及び国会に送付しました。



認知症と共生社会の実現を求める意見書



地方創生に貢献するサーキュラーエコノミー（循環経済）の一層の推進を求める意見書



聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書



マイナンバーカード等の偽造及び悪用防止の徹底を求める意見書

請願

国または地方公共団体の機関に対して、その職務に関する事柄について文書で希望を申し述べるもので、提出する場合は、議員の紹介が必要です。

所管の委員会で審査し、本会議で採決を行いました。

不採択

高すぎる国民健康保険料、介護保険料の引き下げなど市民の暮らしを守ることを求める請願の件

〔請願項目〕
・高すぎる国民健康保険料、介護保険料を引き下げること。
他 1 項目

23日水	21日月	18日金	15日火	11日金	10日木	9日水	10月	30日月	27日金	25日水	19日木	18日水	17日火	13日金	11日水	10日火	9日月	9月	27日火	22日木	8月
本会議〔決算議案採決〕	議会運営委員会	予算決算常任委員会（全体会）	〔決算審査〕 予算決算常任委員会（総務分科会）	〔決算審査〕 予算決算常任委員会（健康福祉環境分科会）	〔決算審査〕 予算決算常任委員会（文教分科会）	〔決算審査〕 予算決算常任委員会（建設産業分科会）		本会議〔議案採決、決算議案説明〕 予算決算常任委員会（全体会）	議会運営委員会	予算決算常任委員会（全体会）	総務常任委員会 予算決算常任委員会（総務分科会）	建設産業常任委員会 予算決算常任委員会（建設産業分科会）	健康福祉環境常任委員会 予算決算常任委員会（健康福祉環境分科会）	文教常任委員会 予算決算常任委員会（文教分科会）	本会議〔予備日〕	本会議〔予備日〕	本会議〔議案説明、個人質問〕		議会運営委員会	議会運営委員会	

令和 6 年 6 月定例会 本会議 議決結果

賛否が分かれた議案等								
件名 〔 〕は討論件数	議決結果	大阪維新の会	公明党	八尾の未来を紡ぐ会	日本共産党	八尾保守の会	新声	会派に所属しない議員
		景山 和香 木村 健二 稲森 洋樹 鑄方 淳治 松本 剛 坂本 尚之 榊井政佐 田中 慎二 奥田 信宏	福永美智子 南方 武 五百井真二 前園 正昭 西田 尚美	柴谷 匡哉 西川 あり 吉村 拓哉	田中 裕子 谷沢千賀子 越智 妙子	川上 舞 松田 憲幸 田中 久夫	山中 宏 竹田 孝吏	露原 行隆
大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議の件〔賛成1〕〔反対1〕	可決	○	○	○	×	○	○	○
令和6年度八尾市一般会計第3号補正予算の件〔反対1〕	可決	○	○	○	×	○	○	○
高すぎる国民健康保険料、介護保険料の引き下げなど市民の暮らしを守ることを求める請願の件〔採択1〕	不採択	×	×	×	○	×	×	×
◆田中慎二議員は議長のため採決に加わらない。								

全会一致の議案等			
件名 〔 〕は討論件数	議決結果	件名 〔 〕は討論件数	議決結果
損害賠償に関する和解専決処分承認の件〔賛成1〕	承認	大和川右岸水防事務組合議会議員選挙の件	当選
八尾市職員の退職給付及び障害給付に関する条例の一部改正の件	可決	認知症と共生社会の実現を求める意見書提出の件	可決
八尾市市税条例の一部改正の件	可決	地方創生に貢献するサーキュラーエコノミー（循環経済）の一層の推進を求める意見書提出の件	可決
市営萱振住宅3号館外1棟外壁等改修工事の工事請負契約締結の件	可決	聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書提出の件	可決
八尾市有功者推挙の件（吉川慎一郎氏）	可決	マイナンバーカード等の偽造及び悪用防止の徹底を求める意見書提出の件	可決
人権擁護委員候補者を推薦するについて意見を求める件	適任と答申		
◆田中慎二議員は議長のため採決に加わらない。			

傍聴の案内

八尾市議会の本会議・委員会は、どなたでも傍聴することができます。
傍聴を希望される方は、会議の当日、傍聴受付で住所・氏名を記入し、傍聴券の交付を受けて入場してください。
（途中入退場可・車椅子等をご利用の方、小さなお子様連れの方も傍聴いただけます）

【開会場所・時間】

本会議:市役所本庁 10 階 議場
委員会:市役所本庁 8 階 第 1 委員会室
ともに午前 10 時開会
※変更になる場合があります。詳しくはホームページ・SNS を確認していただくか、下記までお問い合わせください。
市議会事務局 議事政策課 TEL 072-924-3895

【お知らせ】

・手話通訳を希望される場合は、1 週間前までに市議会事務局にご連絡ください。
・会場には補聴器の「T モード」対応の磁気ループアンテナを設置しています。
・定員を超えた場合は抽選になります。
（議場 86 人、委員会室 15 人）

vol.326 やおい市議会だより 14

INTERVIEW

市議会だよりメインインタビュー / オオサカポテト 代表 渡邊博文さん

令和6年6月市議会定例会で審議した、「新規就農者への設備導入支援に関する補助金」の補正予算に関連し、2022年に同補助金を活用し八尾市で新規就農された渡邊さんにお話を聞きました。



「農業を始めたのは何がきっかけですか？」
 転勤で愛知から大阪へ来て、趣味のラグビーやサーフィンがしづらなくなったことで、「やりたいことリスト」にあった農業をやってみようと、会社員をしながら趣味として週末農業を始めました。

「なぜ八尾で農業を始めたのですか？」
 つてもないので、SNSで「大阪 農業」と検索し、いろんな農家さんにメッセージを送ったところ、話を聞いて畑を貸してくれたのが八尾の農家さんだったからです。

「専業農家を選択されたいきさつは？」
 週末農業から始め、収穫量が増えたことで副業として体験型農業や芋掘り体験をスタートしました。それを通して課題意識やみんなが農業に関われる環境があればいいのと感じ、専業農家になることを考えだしました。

「農業を通して実現したいことは？」
 ①子どもたちに体験の場をつくる②生活者と農業を繋げる③耕作放棄地をなくす、この3つのミッションを農業を通して達成していきたいです。

「今日、畑に来てくれている方は？」
 東大阪市にある就労継続支援B型事業所の方たちです。オクラの収穫や袋詰めをお願いしています。みんな、めっちゃ収穫作業が早いですよ！

「農福連携の良さはどこですか？」
 畑を働く場所にする事で、福祉的就労をしている方たちにとっては居場所となり、続けることでやりがいや自信にも繋がっていると聞いています。また、農家としては農作業の担い手として大変ありがたい存在です。

「今後の展開や次の目標はありますか？」
 最終的に「大阪をサツマイモの産地にする」という夢を掲げており、先に話した我々が大事にする「3つの思い」に共感し、農業を始める仲間を八尾から大阪中に増やしていきたいと思っています。

「農業をしたい方にノウハウを提供される？」
 農業をする上で困ることとして、栽培技術・農地・買い取り先が挙げられますが、僕たちが持つノウハウを共有することができそうです。

「農地や買い取り先もですか？」
 農地を持て余している方が声をかけてくれており、僕たちが活用しきれない土地を紹介したり、サツマイモを買い取って、形が悪くてもペーストや焼酎にして販売したいと考えています。



就労継続支援B型事業所の方によるオクラ収穫作業



耕作地を広げ夢を実現するためにトラクターも導入

表紙について



オオサカポテトのメンバー

今回の表紙を飾っていただいたのは、2022年に新規就農した若手農家団体「オオサカポテト」代表の渡邊博文さん（写真中央）。八尾市でサツマイモ栽培を行い、サツマイモの販売にとどまらず、育てたサツマイモを原料とした芋焼酎など、様々な製品が誕生しています。



「仲間が増えることに夢に近づきますね」
 実は、少しずつ仲間ができており、苗の提供などもしているんです。今後、農業仲間がどんどん増えていくことで耕作放棄地が減り、秋には大阪のあちこちで子どもたちのサツマイモ収穫イベントが行われている、そんな未来を描いています。

「八尾市に期待することはありますか？」
 暮らしや自然体験としての農業という側面からバックアップしてくれるとありがたいです。例えば、子どもの収穫体験のニーズは高まっているものの、体験費用の面からも一部の子どものみに限られるところを、市が旗振りをして学校行事のようになれば、八尾市の子どもたち全員が自然に触れる体験ができるようになると思います。

「八尾市議会の印象はどうですか？」
 議員の皆さんが普段何をしているかなどあまり分からないので、市民が議会を身近に感じられ、政治に興味を持つ人が増えたらいいなと思います。

編集後記

議会だよりを身近に感じていただく新たな取り組みとして、議案審査に関連した内容について、議会を飛び出し現場でお話を伺いました。取材にご協力いただきありがとうございました。

議会だより編集委員会（◎委員長 ○副委員長）

◎ 松田 憲幸 ○ 山中 宏
 木村 健二 川上 舞 福永 美智子 西川 あり 谷沢 千賀子